

2017(H29)年 6 月 26 日

## 2017(平成 29)年度 極微量物質研究会 (UTA 研) 特別セミナー

…ダイオキシン類分析の GC-HRMS 測定技術に関する実務者セミナー…

(一社)日本環境測定分析協会  
極微量物質研究会  
委員長 濱田典明

極微量物質研究会 (UTA 研) では、年 2 回の定期セミナーにおいて、研究機関や関係省庁から講師をお招きした講演・講習並びに会員による技術情報の提供などで技術力の向上と知見の共有を図り、UTA 研全体のレベルアップに努めてきました。また、現場の技術者を対象とした「フリートーク」では、自由な意見交換や課題解決を通して技術者のレベルアップも図っています。

一方で、ごみ焼却施設におけるダイオキシン類汚染に関する一斉調査が始まってから 20 年以上が経過し、各機関において、現場の技術者の世代交代に伴う技術継承の難しさが喫緊の課題となっています。それを踏まえ今年度は、定期セミナーとは別に、「ダイオキシン類測定 GC-HRMS 分析技術に関する実務者セミナー」と題し、GC-HRMS を扱う実務担当者を対象とした特別セミナーを企画しました。

参加者におかれましては、ダイオキシン類分析の技術レベルを確認し、分析実務を通じて抱えている具体的な課題、疑問点などを解決する良い機会と考えております。奮ってご参加ください。

### 記

1. 主 催 (一社)日本環境測定分析協会 極微量物質研究会 研究開発 WG
2. 日 時 2017(平成 29)年 8 月 30 日(水)13:00~17:00
3. 場 所 株式会社島津テクノリサーチ 本社(本館5F 及び別館1F)  
京都府京都市中央区西ノ京下合町 1 番地  
[http://www.shimadzu-techno.co.jp/aboutus/kyoten\\_hon.html](http://www.shimadzu-techno.co.jp/aboutus/kyoten_hon.html)
4. 定 員 UTA 研の会員限定 先着 20 名程度  
(1 社 2 名まで。なお、申込人数により、各社 1 名に変更の可能性有)
5. 対 象 者 ダイオキシン類分析の GC-MS 実務を担当する技術者(経験年数 2 年以上)  
準会員は特に規定なし。事前に技術的課題に関するアンケートを実施予定
6. 参 加 費 5,400 円、意見交換会参加費用 3,000 円/名  
参加費は、口座振込にてお支払い願います(現地での集金はいたしません)。  
口座等は、参加申込み受付後、事務局からメールにて参加確定通知を返信致し

ますので、この際お知らせする口座に 8 月 21 日(月)迄にお振込ください。

7. 募集締切 2017(平成 29)年 7 月 28 日(金)

8. 目 的 ダイオキシン実務担当者の分析技術レベルの向上と課題解決のヒント

<プログラム概要>

12:30-	受付開始(本館5F)
13:00-13:05	開会の辞:研究開発 WG 長挨拶
13:05-13:30	セミナー参加者自己紹介およびトラブル事例相談
13:30-14:15	講義:ダイオキシン類分析全般(最近の技術的課題) 講師:(株)島津テクノロジー 高菅 卓三 氏(UTA 研技術顧問)
14:15-14:45	講義:前処理関係 講師:いであ(株) 高橋 厚 氏(研究開発 WG 長)
14:45-15:15	講義:GC-HRMS 関係 講師:(株)島津テクノロジー 嶽盛 公昭 氏(研究開発 WG)
15:15-15:30	休憩・移動
15:30-16:00	GC-HRMS に関する実習 (別館1F) 講師:(株)島津テクノロジー 嶽盛 公昭 氏(研究開発 WG)
16:00-17:00	フリーディスカッション(Q&A)
17:00-17:30	休憩・移動
17:30-	情報交換会

※プログラムは変更になる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

以上